

17

フィリピン/セブ

総面積:315km² / 人口:923,000人 /
人口密度:2,930人 / km²



都市の現状

フィリピン中南部の文化・交易の拠点であり、近年都市化が進展しマニラ首都圏に次ぐフィリピン第二の都市圏を形成。国内で最も古い都市として長い歴史を有すセブ市は、観光拠点としても人気である。訪れる観光客や投資家の需要に対応すべく、ホテルやリゾート施設、商業やオフィスビル等の開発が進んでいる。

スマートシティ行動計画

ビジョン：セブ市は、都市のモビリティ、個人の安全と治安において、効率的な技術の活用により都市の成長を目指す。現在取り組んでいるセブ市バス高速輸送(BRT)プロジェクトを第1期とする統合一貫輸送システム(IITS)により、公共交通とモビリティの向上を図る。また、セキュリティ、交通、災害に対応する近代的な集中指令センターも計画している。セブ市は2025年までに改善された包括的なモビリティの提供を目指し、より多くの市民に効率性、有効性、速度、快適性の高い、手頃な公共交通機関を提供する。

重点分野：個人の安全と治安、モビリティ

Project 1：統合一貫輸送システム(IITS)

- IITSは、運輸省を介し中央政府と連携し、モノレール、2地点間乗合バス、LRT、BRTを含む効率的かつ近代的な大量輸送システムにより、都市モビリティへの対処を図る。
- IITSの第1期は、セブ市BRTプロジェクトの実施であり、これによりサウス・ロード・プロパティズ(South Road Properties)とセブITパーク(Cebu IT Park)間やその他市内幹線道路とが接続する。

Project 2：セブ市指令センター

- セキュリティ、安全、交通管理、災害対策に対応する集中監視制御システムの構築
- デジタルシステム、人工知能(AI)、解析等の先進技術を導入予定

取組み状況

- Project 1** IITSプロジェクトの第1期事業であるBRTプロジェクトは、既に実施を開始している。本事業は、世界銀行及び中央政府の支援により資金確保されている。本格的な実施における懸念事項としては、BRTの施工範囲によって影響を受ける土地の道路用地取得があげられる。IITSの他のシステムは調査または様々な開発段階にある。
- Project 2** セブ市は既に指令センターを有しているが、施設やシステム面に乏しい。これらシステムのアップグレード、デジタル化、ならびに解析の統合が求められる。一部のプロジェクトはまだ調査段階にある。

